



山口市

報道資料

令和6年7月11日

1 件 名	「 ふなこしけじゅうたくおもや 船越家住宅主屋」の国登録有形文化財への登録について (国文化審議会の答申)
2 日 時	令和6年7月19日(金)
3 場 所	船越家住宅主屋(山口市後河原字吉田)
4 内 容	国の文化審議会は、7月19日(金)に開催される同文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに、本市大殿地域にある「ふなこしけじゅうたくおもや船越家住宅主屋」を登録するよう、文部科学大臣に対して答申する予定です。 「船越家住宅主屋」は、昭和4年に東京牛込から移築された木造2階建の住宅であり、洋館の応接間を持つ近代和風住宅で、当時の姿を良好に留めているものとして評価され、今回の登録答申となったものです。(詳細は別紙) なお、本市の登録有形文化財(建造物)の答申は、令和3年3月の「妙鑑寺位牌堂」に続き11件目となります。 ※写真データの提供を希望される場合は、文化財保護課までご連絡ください。
5 問い合わせ	山口市教育委員会文化財保護課(担当: まんせ 満瀬) TEL 083-920-4111 FAX 083-920-4112 E-mail bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp

「船越家住宅主屋」概要

- (1) 所在地 山口市後河原字吉田
- (2) 所有者 個人
- (3) 建設年代 昭和4年(1929)／昭和7年(1932)増築
- (4) 構造 木造2階建、瓦葺、建築面積122㎡
- (5) 概 要

船越家住宅主屋は大庭地域を流れる一の坂川沿いに建つ、木造2階建、桧瓦葺、建築面積122㎡の建物です。昭和4年(1929)に東京牛込から移築されたもので、その後昭和7年(1932)に洋館の応接間等が増築されました。

内部は1階・2階ともに2室続きの座敷があり、東側・南側に廊下を廻らせています。2階座敷の床の間は、床と床脇を組み合わせた意匠を凝らした造りとなっています。

本建物は、一の坂川周辺の景観形成重点地区において、現代まで継承されてきた大変貴重な近代和風住宅です。



外観（南西から）



2階座敷